

■恋

JOJO第1巻で「恋ッ！！」とかやられたときはかなり死んだ。高校生の頃、恋をしていることに気付かず、愛を求めたために挫折した苦い経験を持つ。恋こそおセンチテイストの真骨頂である。恋は人類にとって不可欠ではないがスバラしいものである。